

2014年9月16日
株式会社 山と溪谷社
<http://www.yamakei.co.jp/>

近年、再評価著しく、登山者にも愛され続けてきた日本を代表する木版画家・畦地梅太郎
の代表的連作「山男」を収録した版画集を刊行

インプレスグループで山岳・自然分野のメディア事業を手がける株式会社山と溪谷社（所在地：東京都千代田区、代表取締役社長：関本彰大）は、2014年9月12日に、日本の代表的木版画家・畦地梅太郎氏の連作「山男」を収録した『畦地梅太郎版画集「山男」』を刊行しました。

日本の代表的木版画家であり、「山の版画家」として知られる畦地梅太郎。近年、再評価の気運が高まり、若い世代からもレスpektされていますが、ここしばらく、入手しやすい版画集が市販されていませんでした。そこで、没後15周年に当たる本年、畦地作品の代表的な連作である「山男」作品を中心にまとめた版画集を刊行します。コンパクトでお求めやすい価格ながら、70点以上の作品が収められた充実した版画集となっています。畦地ファン待望の版画集です。

畦地梅太郎 版画集
「山男」
UMETARO Azechi
Works



山と溪谷社

略歴

畦地梅太郎 あぜち・うめたろう
1902年（明治35年）12月28日、愛媛県北宇和郡二名村（現宇和島市三間町）に生まれる。

1920年（大正9年）に上京、その後、内閣印刷局活版係の職に就き、仕事の空き時間に鉛版画を始める。

1936年（昭和11年）、初の版画集『伊豫風景』を発表。

1937年（昭和12年）、国画会展で国画奨学賞を受賞（1940年には、2度目の受賞）。

1953年（昭和28年）ごろ 山男を題材にした作品の制作を始める。

1973年（昭和48年）愛媛県立美術館で「とぼとぼ50年展」を開催。

1976年（昭和51年）から東京都町田市鶴川に転居。

1991年（平成3年）、町田市立国際版画美術館で畦地梅太郎版画

展開催。

1999年（平成11年）4月12日、肺炎のため永眠（享年96）。

2001年に鶴川のアトリエを改装し、畦地梅太郎ギャラリー「あとリエ・う」として公開されている。

2014年には、山岳書のベストセラーとなった『定本 黒部の山賊』（伊藤正一著 山と溪谷社）のカバー装画に「山の音」を提供し、発行元がモンベルグループに変更されリニューアルされる山岳雑誌『岳人』（ネイチュアエンタープライズ）の表紙を飾るなど話題も多く、若い世代からの評価と関心が高まっている。

「あとりえ・う」（畦地梅太郎ギャラリー） <http://www.atelier-u.net/index.html>

【山と溪谷社】 <http://www.yamakei.co.jp/>

1930年創業。月刊誌『山と溪谷』を中心に、国内外で山岳・自然科学・アウトドア等の分野で出版活動を展開。さらに、自然、環境、エコロジー、ライフスタイルの分野で多くの出版物を展開しています。

【インプレスグループ】 <http://www.impressholdings.com/>

株式会社インプレスホールディングス(本社:東京都千代田区、代表取締役:関本彰大、証券コード:東証1部9479)を持株会社とするメディアグループ。「IT」「音楽」「デザイン」「山岳・自然」「モバイルサービス」を主要テーマに専門性の高いコンテンツ+サービスを提供するメディア事業を展開しています。

以上

【本リリースについてのお問い合わせ先】

株式会社山と溪谷社 担当:勝峰

〒102-0073 東京都千代田区九段北3-2-11 住友不動産九段北ビル8階

TEL03-6744-1911 メール info@yamakei.co.jp